

地図と測量の公開講座

「位置基準」(第2回)

—記述の枠組みと現実のモデル—

第1回では座標の定義と実現についてお話ししました。今回は、少し視点を変えて、座標という定量的に扱える量は、実は仮想世界において計算されているものであって、現実世界とは大まかに重なりながら、微妙にずれた世界であることに目を向けてみたいと思います。

特に、座標系が持っている「現実を記述するための数学的枠組み」としての見方と、「考えている空間のモデル」としての見方を対比しながら、「座標」のいろいろな顔つきを見直してみましよう。

私の頭の中の「座標のイメージ」を語りますので、ご自身のイメージと比較して、「そういう見方もあるか」であったり、「しょうもない」であったり、それぞれに自由に考えて「座標」を楽しみ、慈しむ足がかりにしていただければ幸いです。

■ 日時 令和5年7月14日(金) 16:00~17:30

※講演:16:00~17:00/質疑応答:17:00~17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 海津 優 氏 一般財団法人測量専門教育センター専務理事、
一般財団法人日本地図センター地図研究所主任研究員

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員20名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 6月30日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-ic@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)